



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社中央製作所  
 コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼研究開発部長 (氏名) 柘植 良男

TEL 052-821-6166

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,246	6.6	49		62	212.4	61	221.9
29年3月期第2四半期	2,107	10.3	12		20	32.7	19	2.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 89百万円 (259.5%) 29年3月期第2四半期 24百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	79.14	
29年3月期第2四半期	24.56	

平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,936	2,110	42.8
29年3月期	4,656	2,052	44.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 2,110百万円 29年3月期 2,052百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		40.00	40.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 創立80周年記念配当 15円00銭

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	8.5	180	480.6	200	177.8	140	37.3	180.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	784,300 株	29年3月期	784,300 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	10,008 株	29年3月期	9,770 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	774,412 株	29年3月期2Q	775,253 株

平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、29年3月期2Q期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	9
(1) 生産実績	9
(2) 受注実績	9
(3) 販売実績	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用所得環境の改善や、五輪関連の建設需要などを背景に企業収益が改善し、緩やかな回復基調で推移いたしました。

また、世界経済も、新興国経済の上方修正や、米国や欧州経済の堅調さにより緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし、米国における経済・金融政策の動向や地政学的リスクの高まりにより、世界経済の下押し圧力となる可能性があり、不透明な状況が続いております。

こうした経済情勢の中で、当社グループは継続的なコスト低減の取り組みを通じて競争力強化を図ることはもとより、新製品の開発に重点を置き産業界への新価値を提供することにより、新規市場の開拓、新規顧客の獲得を目指してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は2,692百万円（前年同期比17.6%増）、売上高は2,246百万円（前年同期比6.6%増）となりました。損益については、営業利益49百万円（前年同期は営業損失12百万円）、経常利益62百万円（前年同期比212.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益61百万円（前年同期比221.9%増）となりました。

今後においては、①製造業の在庫復元に伴う生産増、②世界的なIT需要の拡大や設備投資の回復を背景とする輸出の増加、③老朽化した設備の更新投資や非製造業での建設投資、④雇用所得環境の改善、などがプラスに作用することが期待でき、積極的な提案営業により受注・売上の確保に努めてまいります。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

#### (電源機器)

電源機器につきましては、二次電池、アルミ建材などの業界を中心に様々な仕様にお応えするとともに納期の短縮に努め、受注の確保に取り組んでまいりました。また、汎用電源では、通信機能搭載により多台数の注文にもお応えできるよう取り組んでまいりました。その結果、受注高は860百万円（前年同期比20.2%増）、売上高は733百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

今後につきましては、更なる高効率化を目指した新型電源の開発及びオープンフィールドネットワーク対応も含めた技術開発に取り組み、多様な市場のニーズに応えるべく、電源機器のシェア拡大を目指してまいります。

#### (表面処理装置)

表面処理装置につきましては、新規顧客の掘り起こしと稼働中の装置の改造、修理、点検の案件に対する積極的な対応により、受注・売上の拡大を図りました。その結果、受注高は948百万円（前年同期比37.1%増）、売上高は721百万円（前年同期比32.1%増）といずれも大きく増加いたしました。

今後も装置の機能や機構を見直し、更に「メンテナンスし易い装置」「生産効率の良い装置」「省エネルギーな装置」を実現し、新規・更新需要の掘り起こしとともに、IoT技術を活用した予防保全のシステムであるCCCS-M（中央コンピュータコントロールシステムーメンテナンス）の提案を進め、受注・売上の確保に努めてまいります。

#### (電気溶接機)

電気溶接機につきましては、国内の自動車関連業界及び建設資材業界などの内需型産業を中心に、新規設備投資・更新需要に対して積極的に取り組んでまいりました。また、海外におきましても、海外代理店との連携を密にして電子部品業界を中心とした積極的な拡販に努めてまいりましたが、受注高は442百万円（前年同期比6.0%減）、売上高は519百万円（前年同期比3.3%減）といずれも減少いたしました。

今後につきましては、精密溶接分野への新製品投入により、国内外の市場開拓に努め、更なる拡販を目指してまいります。

#### (環境機器)

環境機器につきましては、環境保全の国際的な取り組みが加速する中、受注・売上の拡大を目指してきましたが、受注高は139百万円（前年同期比3.6%減）、売上高は122百万円（前年同期比4.0%減）といずれも減少いたしました。

今後につきましては、液管理装置や液リサイクル装置であるエチクリーンやペーパーコン（いずれも当社製品）など環境保全に役立つ製品の拡販に努めてまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5.2%増加し3,935百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が126百万円減少したものの、現金及び預金が211百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ9.4%増加し1,000百万円となりました。これは、投資その他の資産が99百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ6.0%増加し4,936百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ11.9%増加し2,270百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が70百万円、その他が169百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3.4%減少し555百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が40百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ8.5%増加し2,826百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2.8%増加し2,110百万円となりました。これは、利益剰余金が30百万円、その他有価証券評価差額金が28百万円増加したこと等によります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、期首時点に比べて211百万円増加し1,398百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金の増加は249百万円(前年同四半期は16百万円の増加)となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少額76百万円、仕入債務の増加額72百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額39百万円等であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金の減少は7百万円(前年同四半期は27百万円の減少)となりました。

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出7百万円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金の減少は30百万円(前年同四半期は19百万円の減少)となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額30百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表いたしました内容を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成30年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

なお、記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,336,298	1,548,121
受取手形及び売掛金	1,405,144	1,278,713
電子記録債権	211,694	259,269
商品及び製品	72,835	63,692
仕掛品	591,233	639,429
原材料及び貯蔵品	99,692	99,777
その他	25,951	47,559
貸倒引当金	△700	△650
流動資産合計	3,742,151	3,935,914
固定資産		
有形固定資産	293,055	281,342
無形固定資産	9,579	7,558
投資その他の資産	612,158	712,024
固定資産合計	914,793	1,000,924
資産合計	4,656,944	4,936,838
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,022,570	1,093,277
短期借入金	740,000	740,000
未払法人税等	8,344	9,379
その他	258,807	428,330
流動負債合計	2,029,722	2,270,988
固定負債		
役員退職慰労引当金	101,300	109,600
退職給付に係る負債	418,224	377,833
その他	55,184	67,792
固定負債合計	574,709	555,225
負債合計	2,604,431	2,826,214
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,157,296	1,187,598
自己株式	△14,465	△14,796
株主資本合計	1,871,416	1,901,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173,389	202,160
為替換算調整勘定	7,707	7,075
その他の包括利益累計額合計	181,097	209,236
純資産合計	2,052,513	2,110,624
負債純資産合計	4,656,944	4,936,838

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,107,781	2,246,646
売上原価	1,637,857	1,677,230
売上総利益	469,923	569,416
販売費及び一般管理費	482,332	520,312
営業利益又は営業損失(△)	△12,409	49,103
営業外収益		
受取利息	197	272
受取配当金	4,367	4,178
持分法による投資利益	7,552	10,776
役員退職慰労引当金戻入額	22,030	—
その他	3,554	1,746
営業外収益合計	37,702	16,974
営業外費用		
支払利息	3,094	2,790
為替差損	1,885	102
その他	151	208
営業外費用合計	5,131	3,101
経常利益	20,161	62,976
特別利益		
固定資産売却益	—	9
特別利益合計	—	9
特別損失		
固定資産処分損	43	164
特別損失合計	43	164
税金等調整前四半期純利益	20,117	62,822
法人税、住民税及び事業税	1,077	1,539
法人税等合計	1,077	1,539
四半期純利益	19,040	61,283
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,040	61,283

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	19,040	61,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,421	28,771
為替換算調整勘定	△3,587	△632
その他の包括利益合計	5,833	28,139
四半期包括利益	24,874	89,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,874	89,422
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	20,117	62,822
減価償却費	21,980	20,687
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,382	△174
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	-	△48,123
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△26,035	△40,391
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△126,600	8,300
受取利息及び受取配当金	△4,565	△4,450
支払利息	3,094	2,790
持分法による投資損益(△は益)	△7,552	△10,776
固定資産処分損益(△は益)	43	154
売上債権の増減額(△は増加)	131,524	76,524
たな卸資産の増減額(△は増加)	61,546	△39,114
仕入債務の増減額(△は減少)	△105,432	72,832
その他	51,625	149,070
小計	16,364	250,151
利息及び配当金の受取額	4,565	4,450
利息の支払額	△3,121	△2,838
法人税等の支払額	△1,077	△1,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,731	249,831
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△25,614	△7,448
有形固定資産の売却による収入	-	10
無形固定資産の取得による支出	△598	-
投資有価証券の取得による支出	△451	△121
長期貸付金の回収による収入	1,082	-
その他	△1,767	423
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,348	△7,135
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△19,168	△30,078
その他	△235	△330
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,403	△30,409
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,419	△463
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△34,440	211,823
現金及び現金同等物の期首残高	1,166,515	1,186,298
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,132,075	1,398,121

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. その他

生産、受注及び販売の状況(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	772,590	8.5
表面処理装置	768,398	49.6
電気溶接機	437,658	△13.9
環境機器	134,876	35.0
その他	229,516	13.2
合計	2,343,040	15.0

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	860,794	20.2	548,037	92.6
表面処理装置	948,909	37.1	853,780	15.3
電気溶接機	442,353	△6.0	131,139	△43.8
環境機器	139,694	△3.6	54,445	19.9
その他	301,101	13.5	213,630	51.1
合計	2,692,853	17.6	1,801,031	24.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	733,612	△1.7
表面処理装置	721,858	32.1
電気溶接機	519,527	△3.3
環境機器	122,080	△4.0
その他	149,567	△0.5
合計	2,246,646	6.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。